

21世紀将来世代学構築

International Symposium on

Traditional and Contemporary Care and Medicine

～ 将来世代に向けた医療基盤の構築を目指す欧米の生命・医療倫理の最先端～



期日:12月10日(金) 16:00～19:00

場所:熊本大学大学院保健学教育部 E503号室

本荘・九品寺地区CのE棟:入口は、保健学科事務のある建物の南側。発生医学研のある本荘中地区Bに駐車後、徒歩5分以下のサイトで、本荘・九品寺地区の場所をご確認頂けます。
http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/campusjouhou/shuyou_shisetsu/

参加費:無料,申し込み不要,一部通訳・日本語解説有

募集対象者:看護・医療・心理・倫理に興味のある方

企画:医学部保健学科(宇佐美、前田、森田)、発生研(桑)

問合せ先:熊大大学院教育支援センター

Tel/Fax:096-342-2390, chaomei@kumamoto-u.ac.jp(渡邊)

内容と講師紹介

16:00～16:10 開会

16:10～16:55 Dr.G. Chapouthier(座長:桑 和彦)

"Pharmacology and animal behavior" (especially anxiety and memory) ~ Cognition in higher animals and ethical foundation of animal experiments"

*シャプティ博士は、仏最大で最高峰の科学研究所といわれているフランス国立科学研究所の教授として、ソルボンヌ大・リヨン大等の博士課程の学生に教育をされています。仏の自然哲学及び神経生物学(認知システム)及び動物の権利に関する第1人者です。今回は、動物の権利の科学的根拠とつながる高等動物の認知システム(記憶と不安感)について話して頂きます。

17:00～17:45 Dr.K. S. Khroutski(座長:桑 和彦)

"Biocosmological perspective of medical system development: Russian experience"

*クローツキ博士は、ロシアのバイオコスモロジー思想の創設者です。今回、ロシア・東欧・北欧を中心に、アジア・アメリカ圏の各分野の科学者が、新しい医療システムの基礎構築のために始めたバイオコスモロジープロジェクトの概要を話して頂きます。

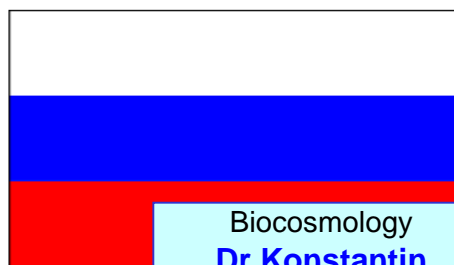
17:50～18:35 Dr.S. Fenwick(座長:宇佐美しおり)

"Brain death and Thanatos ethics ~Coma as key of self-awareness"

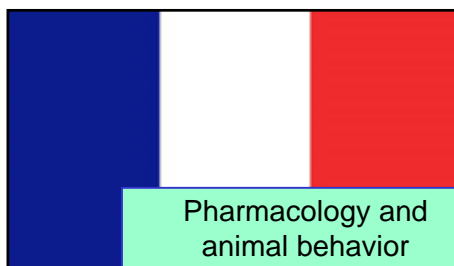
*フェンウィック博士は、世界最先端の心理学の一つプロセス指向心理学(POP)創始者アーノルド・ミンデル博士から直接ご紹介頂いたレインボーメディスン(統合型代替医療)の第1人者です。今回、脳死に関わる生と死の境界領域としての昏睡状態の中で、人は何を感じ、認識しているのでしょうか。POPが開発してきたコーマワークによる昏睡状態の人への言語・非言語的な対話療法の概要、対話からわかってきた各個人の物語の普遍的な意味と深層心理学的な解釈について話して頂きます。

18:35～18:55 総合討論

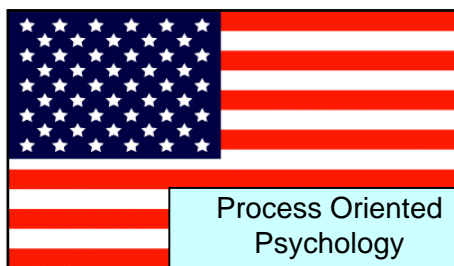
18:55～19:00 閉会



Biocosmology
Dr.Konstantin
S.Khroutski
医学博士・哲学博士



Pharmacology and
animal behavior
Dr.George Chapouthier
医学博士・哲学博士



Process Oriented
Psychology
Dr.Steve Fenwick
心理学博士・哲学博士